

平成 30 年度『一般用医薬品研修会～症候学とトリアージを学ぼう～』

一般用医薬品等委員会 澤上 克彦

平成 31 年 3 月 24 日(日)青森県薬剤師会館にて一般用医薬品研修会を開催しました。当日未明からの雪で足元の悪い中、多くの方の参加がありました。

(公社)日本薬剤師会作成 DVD を用いて、当会磯木副会長の進行に従って個人作業・SDG を繰り返すワークショップ形式の参加型研修会です。当会では平成 24 年から「頭痛トリアージ」「腹痛トリアージ」「腰痛トリアージ」と内容を変えて研修会を開催してきました。地道に研修会開催を重ねてきた結果、この研修会は健康サポート薬局研修会の B 研修として採用され、当会で多くの B 研修免除者がありました。

最近の OTC 関連の話題では要指導・一般用医薬品販売覆面調査で販売の際の法令順守率低下が指摘されています。特に薬剤師の名札の未着用、文書を使用した販売説明などが挙げられます。

今回使用した最新の DVD では日本薬剤師会 乾副会長から「一般用医薬品等販売制度への対応とその理解～全ての医薬品の供給拠点として目指すもの～」と題して、①現在の薬局・薬剤師を取り巻く状況②「医薬品販売制度実態把握調査」の示すもの③すべての医薬品の供給拠点として以上の三点について 30 分程度の講義、その後「薬剤師の視点からみた臨床判断と要指導医薬品・一般用医薬品の適正な販売」と題して薬局でのトリアージを学ぶ 160 分程度の研修会を実施しました。

参加者は 10 人一組のグループに分かれて SDG、個人作業に真剣に取り組んでおり、SDG 発表では積極的に OTC を使用したトリアージの方法、受診勧奨など活発に話し合われた多くの意見が発表されていました。内容としては様々な症例が提示され、その症例ごとに薬剤師の視点で併用薬、副作用・アレルギー歴、現症状を問診し症状にあったトリアージを行う手法を確認していました。

今後、薬局において薬剤師による適切なトリアージは益々必要になってきます。本研修会はさらに回数を重ねて、多くの会員に参加していただきトリアージの知識・手法を知ってもらう場を提供していきます。

